

ブミコンとアスファルト、コンクリートとの温度差と水まき後の温度変化のグラフ



## ブミコンとアスファルト等との輻射熱(照り返し熱)の差について

真夏の外気温が30℃前後の時、アスファルトの表面温度は48℃、ブミコンは42.5℃で5.5℃ほどの差が見られます。さらに水をまき1時間経過するとアスファルトの表面温度は40℃、ブミコンの表面温度は27℃まで下がります。温度差は13℃まで広がります。歩道や境内をブミコンで舗装することで真夏の地面からの照り返しの熱を押さえられるので体感温度も下がります。乳母車によって地面近くを動く赤ちゃんやはだしで歩くワンちゃんも楽になりますね。

### 根拠となるグラフとデータ <温度変化の比較>

	水まき前	水まき後	水まき後15分	水まき後30分	水まき後45分	水まき後60分	平均温度
外気温	28	28.2	28.5	30.2	29.8	30.6	29.2
アスファルト	48	45	39.5	39	41	40	42.1
コンクリート	45.5	40	37.5	35.5	37	36.7	38.7
ブミコン	42.5	35	37	30.5	28	27	33.3
<b>ブミコンとの温度差</b>							
	水まき前	水まき後	水まき後15分	水まき後30分	水まき後45分	水まき後60分	平均温度差
アスファルト	5.5	10	2.5	8.5	13	13	8.8
コンクリート	3	5	0.5	5	9	9.7	5.4
外気温	-14.5	-6.8	-8.5	-0.3	1.8	3.6	-4.1

(単位:℃)